

薬事委員会決定事項

薬事委員会 書記
薬剤部 小泉 祐一、木村 初

2021年6月18日の薬事委員会で以下の薬剤について決定いたしました。他の事柄についてもあわせてご報告いたします。

① 新規採用医薬品

オルミエント錠 2mg (総合診療センター)

薬効： ヤヌスキナーゼ (JAK) 阻害剤

申請理由： 新型コロナウイルス感染症患者でレムデシビルと併用で効果が期待できるため。

採用中止薬剤： なし【コロナウイルス流行期のみ使用】

エンレスト錠 200mg (心不全センター)【院外限定】

薬効： アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬 (ARNI)

申請理由： 50mg1日2回で開始し、段階的に増量後200mg1日2回を目標投与量とする。アドヒアランス向上のため200mg規格を採用したい。

採用中止薬剤： なし

エドルミズ錠 50mg (外科センター)【院外限定】

薬効： グレリン様作用薬

申請理由： がん悪液質に対する治療薬で緩和治療・化学療法中の患者にも効果期待できるため。

採用中止薬剤： なし

ベネクレクスタ錠 100mg・50mg・10mg (血液疾患センター)

薬効： 抗悪性腫瘍剤/BCL-2 阻害剤

申請理由： 急性骨髄性白血病に対しての新規治療薬として効果が期待できるため。

採用中止薬剤： サンラビン点滴静注用 150mg、200mg、250mg

ポライビー点滴静注用 30mg・140mg (血液疾患センター)

薬効： 抗悪性腫瘍剤/微小管阻害薬結合抗 CD79b モノクローナル抗体

申請理由： 再発・難治性 DLBCL に対して臨床試験で優れた効果が報告されている新薬であるため。

採用中止薬剤： ニドラン注 50mg

モビコール配合内用剤 (消化器内科)

薬効： 慢性便秘症治療薬

申請理由： ラグノスゼリーが便秘症で使用できていたが、供給停止となっている。代替として腎不全でも使用できる本剤を採用希望。

採用中止薬剤： ラグノスゼリー

ポプスカイン 0.25%注シリンジ 25mg/10mL (麻酔科・中央手術部)

薬効： 長時間作用性局所麻酔剤

申請理由： 腹腔鏡手術、脊椎手術時に術後創部痛対策として 0.75%アナペインと生食を混合して使用しているが、術野へ清潔操作で展開するために同効果のプレフィルドシリンジが有用であるため。

採用中止薬剤： アナペイン注 7.5mg/mL 10 mL

タプロスミニ点眼液 0.0015% (アイセンター) 【院外限定】

薬効： プロスタグランジン F2 α 誘導体 緑内障・高眼圧症治療剤

申請理由： 薬剤性角膜障害の方に防腐剤のない使い切り点眼の使用が好ましいため。

採用中止薬剤： なし

② 後発医薬品について

後発名	薬価	後発名	薬価
イリノテカン塩酸塩点滴静注液 40mg 「NK」 2mL	1638	イリノテカン塩酸塩点滴静注液 40mg 「ホスピーラ」 2mL	1638
イリノテカン塩酸塩点滴静注液 100mg 「NK」 5mL	3643	イリノテカン塩酸塩点滴静注液 100mg 「ホスピーラ」 5mL	3643

③ 使用成績調査について

- 1 調査区分：特定使用成績調査
- 2 医薬品名：エドルミズ錠 50 mg
- 3 調査目的：がん悪液質（非小細胞肺癌、胃癌、膵癌、大腸癌）を有する患者に対し、エドルミズ[®]錠 50mg（以下、本剤）の製造販売後における副作用（有害事象）、特に安全性検討事項に定めた事象の発現状況を把握し、安全性及び有効性に影響を与えると考えられる要因について検討を行うことを目的とする。
- 4 調査予定期間：販売開始日から全例調査に係る承認条件の解除まで
登録期間：販売開始日から全例調査に係る承認条件の解除まで
観察期間：観察期間は本剤使用開始後 1 年（52 週）間。
ただし、観察期間途中で本剤の使用を中止した場合は、最終使用時まで。
- 5 予定症例数：本剤を使用するすべての患者（全例）
- 6 調査責任医師：内間 恭武
調査分担医師：竹内 一浩、山添 定明、平川 俊基、平田 啓一郎
西岡 孝芳、田中 裕人、奥野 倫久、王 恩、西川 真理子

- 1 調査区分：特定使用成績調査
- 2 医薬品名：エドルミズ錠 50 mg
- 3 調査目的：がん悪液質（非小細胞肺癌、胃癌、膵癌、大腸癌）を有する患者に対し、エドルミズ[®]錠 50mg（以下、本剤）の製造販売後における副作用（有害事象）、特に安全性検討事項に定めた事象の発現状況を把握し、安全性及び有効性に影響を与えると考えられる要因について検討を行うことを目的とする。
- 4 調査予定期間：販売開始日から全例調査に係る承認条件の解除まで
登録期間：販売開始日から全例調査に係る承認条件の解除まで
観察期間：観察期間は本剤使用開始後 1 年（52 週）間。
ただし、観察期間途中で本剤の使用を中止した場合は、最終使用時まで。
- 5 予定症例数：本剤を使用するすべての患者（全例）
- 6 調査責任医師：高柳 成徳
調査分担医師：土細工 利夫、武田 修身、半野 元、谷 優、平位 暢康、
久松 美友紀、南 知宏、中村 吉宏、山本 圭以、吉川 馨介、吉田 早希

以上